

## 日本での交換留学

慶北大学校

ホン・スミン

慶北大学校からお茶の水女子大学に交換留学に来たホン・スミンと申します。留学して最初の学期が無事終わりそうなので、私の留學生活について紹介したいと思います。

もともと私は2022年4月から交換留学を開始する予定でしたが、コロナ禍のせいで1学期延ばして10月から始めることになりました。4月の時点では日本入国許可が下りるか不明で、対面で留学をしたかったこともあり、1学期延ばしました。結果的に10月には日本に来ることができて本当に幸運だったと思います。

私はもともと日本語専攻ではなく、交換留學生に選ばれた後も日本語の勉強があまりできなかったのが、日本に初めて来た時は上手く話せなくて大変でした。韓国では日本語能力試験を中心に勉強したので読むことはできましたが、上手く話せませんでした。しかし、日本で交換留學生として生活しながら授業も受け、日本語で話す機会も多くなり、自然に日本語を話す実力がついてきたと思います。

私の専攻は食品工学で、お茶の水女子大学には食品栄養学科があるため交換留學先に決めました。しかし、今学期は私の日本語の実力が足りず、食品栄養学科の専攻授業が実習中心の授業で参加制限があることもあり、留學生向けの授業と教養科目の授業を受けました。次の学期には専攻授業を受けたいと思っています。

授業は全て興味深かったですが、その中で一番記憶に残る授業は日本事情練習2Bでした。そこでは、日本の社会、文化、歴史について学び、お茶の水女子大学附属小学校5年生たちと交流会を行い、それが一番特別な経験になりました。外国に留學する時、同年代の人たちと会う機会は多いですが、小学生と交流する機会は多くないと思います。交流会では小学生と交換留學生がグループになって、お互いの国について気になる点について質問を交わしました。そして、小学生は交換留學生にSDGsについて発表し、交換留學生も小学生に自分の国について紹介する発表をしました。私が持ってきた韓国の紙幣を見せた時、興味を持って面白がっていた小学生たちの顔が記憶に残っています。

日本で交換留学をしながら色々な経験をたくさんしました。他の交換留学生の友達とディズニーシーやディズニーランドに遊びに行きました。また、私の好きな歌手の初の東京ドームのコンサートにも行けました。鎌倉にも行ってきました。お茶の水女子大学の学園祭「徽音祭」も楽しみました。「徽音祭」で書道部のブースを見て書道を学びたくなり、書道部に入って書道も習っています。クリスマスシーズンには東京のあちこちで行われるイルミネーションも見に行きました。たくさんのLEDライトが集まって輝く風景がとてもきれいでした。そして、東京タワーが見える増上寺で新年を迎えました。学校主催の留学生対象プログラムにも参加し、生け花や着物の着つけ体験をしました。言語交換プログラムにも参加して、日本人学生とペアで1学期の間私が韓国語を教えて相手から日本語を学ぶことができました。こんなにたくさんの経験ができて楽しかったし、すべての瞬間がいい思い出になりました。

最後に、私が交換留学をスムーズに過ごせるようにご助力くださった方々に感謝を申し上げます。私の指導教官になってくださった森山先生、交換学生を担当していろいろ手伝ってくださった萩原先生、学びの多い授業をしてくださった西坂先生、西川先生、加藤先生、小林先生、森光先生ありがとうございます。そして、様々な手続きをしてくださった国際科の先生、安全に過ごせるようにしてくださった寮の管理人の方々もありがとうございます。

